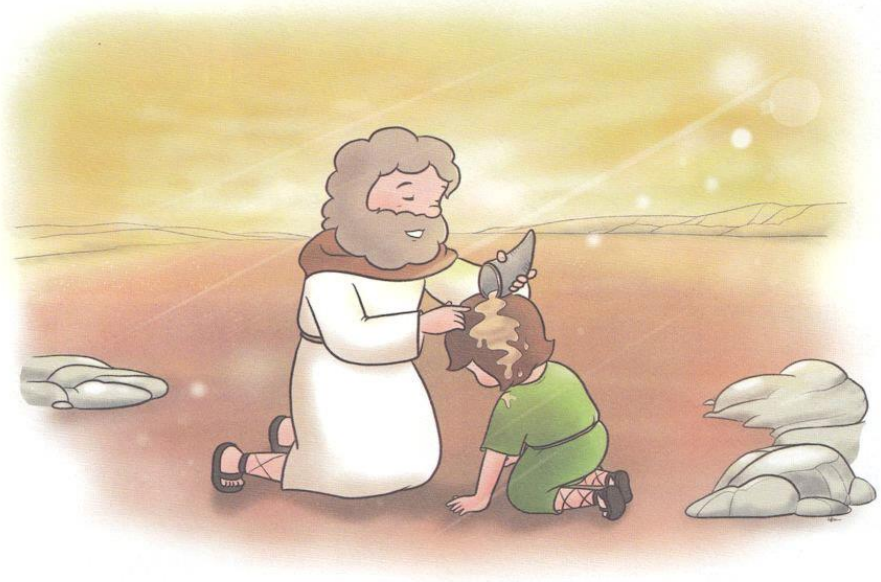
1か　ダビデの幼い時代です

Ⅰサム 16:1〜13　サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。（13）

1. ダビデは幼いときから整えていたことがありました（詩 78:70〜72）
   1）霊性と知性です
   2）信仰と技能です
   3）詩（みことば）、賛美を作る技能です

2. 神様がダビデを選ばれました（Ⅰサム 16:1〜13）
   1）神様はダビデが羊飼いであったときに選ばれました
   2）神様はサムエルを通して、ダビデに王（タラント）になると知らせてくださいました
   3）油を注がれたその日以来、主の霊がダビデの上に激しく下りました

3. ダビデがサウル王と会いました（Ⅰサム 16:23）
   1）王宮の演奏者としてサウル王の前で立琴を弾きました
   2）ダビデが立琴を弾くと、サウル王についていた悪霊が離れました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

05

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

2か　ダビデの青少年時代です

Ⅰサム 17:1～47　ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。きょう、主はおまえを私の手に渡される。私はおまえを打って、おまえの頭を胴体から離し、きょう、ペリシテ人の陣営のしかばねを、空の鳥、地の獣に与える。すべての国は、イスラエルに神がおられることを知るであろう。この全集団も、主が剣や槍を使わずに救うことを知るであろう。この戦いは主の戦いだ。主はおまえたちをわれわれの手に渡される。」（45～47）

1. ダビデは霊的サミットとして準備されました
   1）ダビデに主の霊が激しく下るようになりました（Ⅰサム 16:13）
   2）ダビデは悪霊が離れて行くほど、聖霊に満たされました（Ⅰサム 16:23）
   3）ダビデは父親のお使いをしに行きました（Ⅰサム 17:18）
2. ダビデとゴリヤテの対決がありました
   1）ダビデは理由を持って大胆に出て行きました。しかし、兄たちは高慢だと言いました（Ⅰサム 17:28～29）
   2）ダビデがサウル王の前で、神様が導かれることを信仰によって告白しました（Ⅰサム 17:35～37）
   3）ダビデはゴリヤテと戦って勝ちました（Ⅰサム 17:45～49）
3. ダビデは謙遜に告白しました
   1）サウル王はダビデを覚えていなかったので、質問しました（Ⅰサム 17:55～56）
   2）ダビデは自分は「あなたのしもべ、ベツレヘム人エッサイの子です」と答えました（Ⅰサム 17:57～58）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

12

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

ダビデが歩んだ契約の旅程

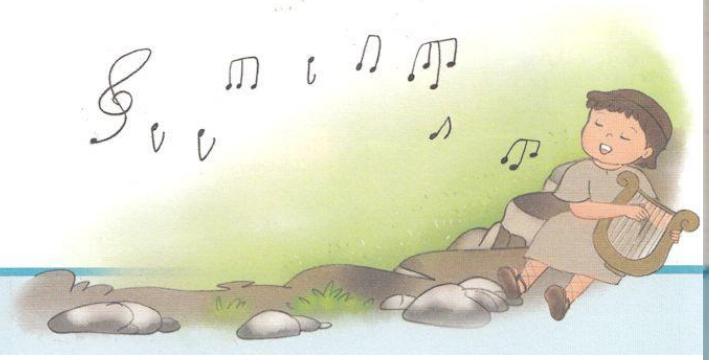
レムナントのみんな、こんにちは！ぼくはダビデです。
いままで聖書と「子どもの祈りの手帳」で
神様がぼくをとおしてなさったことについて聞いたでしょう。
ゴリヤテと戦って勝ったこと、サウル王から逃げ回っていたこと。
神殿建築を準備した話は、とても有名で、ほかのところでもよく
話題になるから聞いたことがあるでしょう。
きょうは、ぼくについて、もう一歩踏み込んで理解するのに役立つ
いくつかのことを話します。

01. 詩篇はなぜダビデの詩と言われるのでしょうか

詩篇はダビデの詩だと言われていますが、全部をダビデが書いたのではありません。はっきりしているだけでもダビデによる詩が73篇、ダビデの息子ソロモンによる詩が2篇、モーセによるものが1篇、コラの子孫は9～12篇、ヘマンが1篇、エタンが1篇、残りはだれが書いたのかはっきりしていません。コラの子孫アサフは、ダビデが生きていた時代の歌うたいでした。作者不明の43篇の中にも、ダビデによる詩があるとする記録もあります。

02. ダビデは神様にどれくらい賛美をささげていたのでしょうか

ダビデは幼いときから、神様に賛美をささげていました。賛美によって悪霊につかれたサウル王がいやされました（Ⅰサム16:23）。ダビデは王になって契約の箱を取り戻したあと、喜びのあまり服が脱げるほど踊って祝いました（Ⅱサム6:15～16、21～22）。歌うたいを任命して、神殿を立てるまで、会見の天幕である幕屋の前で、歌をもって仕えるようにしました（Ⅰ歴6:33）。そのとき、楽器を演奏していた人は、なんと４千人もいました（Ⅰ歴23:5）。王にささげる歌の訓練を受けた人は288人、アサフ、エドトン、ヘマンの三人が指揮をしました。だれでも賛美をしたのではなく、レビ人のなかでも特別に区別された者が賛美するようにしたのでした（Ⅰ歴23:3～5）。



03. ダビデの家族はだれですか

1) 最初の妻ミカルは、サウル王の次女です。サウル王がダビデを殺そうとしたとき、ダビデを助けました。しかし、ダビデが契約の箱の帰還を喜ぶあまり、服が脱げるくらい踊っていたのを見て批判しました。それゆえ、神様は子どもが生まれないようにされました。

2) アヒノアムは、サウル王に追われていたときの妻です。長男アムノンを生みました。

3) アビガイルは、サウル王に追われていたとき、ダビデの軍隊をばかにして神様に殺されたナバルの妻です。彼女はとても賢い女性でした。ダビデはアビガイルを妻として、次男のダニエルを生みました。

4) マアカは、ゲシュルの王タルマイの娘で、政治的な理由で結婚しました。アブシャロムとタマルを生みました。

5) ハギテ、アビタル、エグラもダビデの妻で、ハギテは、王になろうと陰謀をくわだてて死んだアドニヤの母親です。アビタルは、五男シェファテヤを生みました。エグラは、六男のイテレアムを生みました。

6) ウリヤの妻であったバテ・シェバはのちにダビデと結婚して、シムア、ショバブ、ナタン、ソロモンを生みました。のちにソロモンは王になって、ナタンはイエス・キリストの系図に入りました（ルカ3:31）。

7) その他にも、イブハル、エリシャマ（一人目）、エリフェレテ、ノガハ、ネフェグ、ヤフィア、エリシャマ（二人目）、エルヤダ、エリフェレテという息子たちがいました。

04. ダビデはあやまちを犯したとき、どのようにしましたか

ダビデは、よく知られているように、立派なことを多くしましたが、失敗もたくさんしました。代表的なことは、ウリヤの妻であったバテ・シェバと結婚するために、ウリヤが死ぬような指示を将軍のヨアブにしたことです。これについて、預言者ナタンがダビデを責めました。そのとき、ダビデはすぐに神様に悔い改めをしました（Ⅱサム12:1～14,16）

ダビデはサタンにだまされたこともあります。サタンにだまされてイスラエルの人口調査をした結果、疫病で７万人が死にました（Ⅰ歴21:1、14）。そのときも、ダビデは神様に祈って、礼拝をささげ、ゆるしてもらいました（Ⅰ歴21:17～18）。

私たちの生活に適用しよう！

1．私のお気に入りの賛美を書きましょう。

2．今週の講壇のみことばと関係のある賛美を見つけて書きましょう。
例）復活についてのみことばだったなら、復活の賛美）

3．私が失敗したときやあやまちを犯したときに、どうするべきか書きましょう。
神様が願っておられる祈りを書きましょう。

3か　ダビデの青年時代がありました

詩 14:1　愚か者は心の中で、「神はいない」と言っている。彼らは腐っており、忌まわしい事を行なっている。善を行なう者はいない。

1. サウル王の状態は深刻でした

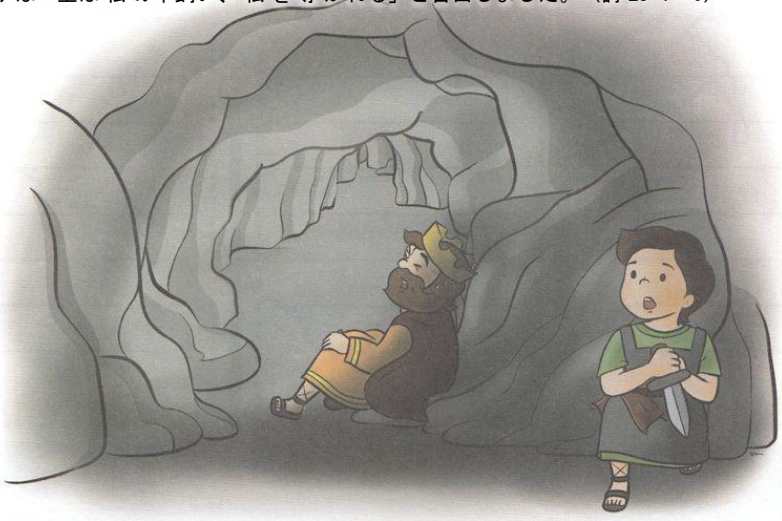
1）サウル王は民がダビデについて語る言葉を聞いてねたみました（Ｉサム 18:6～8）
2）その日以来、サウル王はダビデを疑いの目で見るようになりました（Ｉサム 18:9）
3）サウル王は悪霊につかれて、琴をひいていたダビデを殺そうとしました（Ｉサム 18:10）

2. ダビデは死の危機に会いました

1）ダビデはサウル王が投げた槍を二回も避けました（Ｉサム 18:10）
2）サウル王はダビデを殺すために戦場に送りました（Ｉサム 18:23～29）
3）サウル王は主がダビデとともにおられることを見て恐れ、いつまでも、ダビデの敵になりました（Ｉサム 18:28～30）
4）サウル王はダビデに暗殺者を送りました（Ｉサム 19:12～21）
5）ダビデはサウル王から逃げてガテ地域に身を隠しました（Ｉサム 21:10～15）
6）ダビデはサウル王から逃げてエン・ゲディの洞窟に行きました（Ｉサム 23:1～29）
7）ダビデはサウル王から逃げてハキラの丘に隠れました（Ｉサム 26:1～28）

3. 死の危機の前でもダビデは神様をほめたたえて告白しました

1）愚か者は心の中で、「神はいない」と言っている。（詩 14:1）
2）ダビデは「主は私の羊飼い、私を導かれる」と告白しました。（詩 23:1～6）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

19

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

4か　ダビデの王時代がありました

Ⅰ歴 29:10〜14　ダビデは全集団の目の前で主をほめたたえた。ダビデは言った。「私たちの父イスラエルの神、主よ。あなたはとこしえからとこしえまでほむべきかな。主よ。偉大さと力と栄えと栄光と尊厳とはあなたのものです。天にあるもの地にあるものはみなそうです。主よ。王国もあなたのものです。あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。富と誉れは御前から出ます。あなたはすべてのものの支配者であられ、御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてが偉大にされ、力づけられるのです。今、私たちの神、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄えに満ちた御名をほめたたえます。まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげたにすぎません。（10〜14）

1. ダビデは契約の箱をエルサレムに移しました（Ⅱサム 6:1〜15）
2. ダビデによってイスラエルの領土は拡張しました（Ⅱサム 8:1〜18）
3. ダビデはヨナタンの息子メフィボシェテを世話しました（Ⅱサム 9:1〜13）
4. ダビデが大きな失敗をしたとき、神様に罪を告白して悔い改めの祈りをしました（Ⅱサム 11:1〜12:14）
5. ダビデの息子アブシャロムが反逆しました（Ⅱサム 13:1〜18:5）
6. ダビデが再び、エルサレムに帰還しました（Ⅱサム 19:1〜39）
7. ダビデはその生涯の最後を、神様からの契約どおりに神殿建築を準備することにささげました（Ⅰ歴 29:10〜14）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

26

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば